



かのうけしりょう 加納家史料

(一宮町教育委員会所蔵)

平成11年(1999)2月 寄贈

かのうけ えどじだいくこうき げんざい いちのみやまちあざいちのみやちいき しはい いちのみやはん
加納家は江戸時代後期から、現在の一宮町字一宮地域を支配していた一宮藩の

はんしゅ さいご はんしゅ かのうひさよし ばんねん いちのみやちょうちょう
藩主です。最後の藩主である加納久宜は、晩年に一宮町長をつとめています。

かのうけしりょう ひさよし こ かのうひさあきら のこ しりょう しょかん
「加納家史料」は久宜の子である加納久朗(1886~1963)が残した資料で、書簡や

につき とう しりょうぐん だいぶぶん ひさあきらかんけい せんぜん
日記、アルバム、スクラックブック等からなる資料群です。大部分は久朗関係の戦前

せんご しりょう にほん がいこう けいざい かか ぜんこくてき
から戦後にかけての資料で、日本の外交・経済に関わる全国的なものです。

ひさろう せんぜん よこはましょうきんぎんこう げんざい みつびし ぎんこう ぜんしん いちぶ してんちょう
久朗は戦前、横浜正金銀行(現在の三菱UFJ銀行の前身の一部)のロンドン支店長、

せんご にほんじゅうたくこうだん げんざい としさいせいきこう ぜんしん しょだいそうさい ちばけんちじなど れきにん
戦後は日本住宅公団(現在の都市再生機構の前身)初代総裁、千葉県知事等を歴任し

ました。この「加納家史料」の中にはそんな久朗の人間関係を知ることができる、

きちょう ちょめいじん しょかん おお のこ たと
貴重な著名人の書簡が多く残されています。例えば、

よしだしげる がいむだいじん ないかくそうりだいじん
吉田茂(1878~1967、外務大臣・内閣総理大臣ほか)

ほとやまいちろう べんごし せいじか ないかくそうりだいじん
鳩山一郎(1883~1959、弁護士・政治家・内閣総理大臣ほか)

まつながやすざえもん せいじか じつぎょうか
松永安左エ門(1875~1971、政治家・実業家)

すぎむらようたろう がいこうかん いいん
杉村陽太郎(1884~1939、外交官・IOC委員)

いしばしたんざん ないかくそうりだいじん
石橋湛山(1884~1973、内閣総理大臣ほか)

しげみつまる がいむだいじん しゅうせんじにほんぜんけん こうふくぶんしょ しょめい
重光葵(1887~1957、外務大臣ほか、終戦時日本全権として降伏文書に署名)





やまもと いそろく かいぐんぐんじん れんごうかんたいしれいちょうかん
山本五十六(1884～1943、海軍軍人・連合艦隊司令長官ほか) などなど。。

きょうかしよ で ちよめいじん よしだしげる しょかん つうかくにん
教科書にも出てくるような著名人ばかりです。そのうち、吉田茂の書簡が29通確認
されています。

しょかんいがい にほんじゅうたくこうだんそうさいじだい につき たよう ぶんや かつやく ひさあきら
書簡以外にも、日本住宅公団総裁時代の日記など、多様な分野で活躍した久朗の
すがた し きちよう しりよう おお ふく
姿をうかがい知ることができる貴重な資料が多く含まれています。

そうてんすう やく てん もくろく かのうけしりようもくろく へいせい まちきょういく
総点数は約1,700点で、目録は『加納家史料目録』として平成17年(2005)に町教育
いいんかい かんこう
委員会から刊行されています。



▲「加納家史料」の一部、スクラップブック類

